

## 平成 30 年度 経営発達支援事業評価委員会の開催報告

石岡商工会議所

当所では平成 30 年度に実施した経営発達支援事業につきまして、外部有識者を交えて経営発達支援事業評価委員会を下記の通り開催致しましたので報告致します。

### 記

#### (第 1 回)

1. 日 時 平成 30 年 10 月 4 日(木) 午後 2 時～午後 3 時 12 分
2. 場 所 石岡商工会議所 3 階小会議室
3. 出席委員 外部有識者として委嘱した中小企業診断士 3 名
4. 欠席委員 なし
5. 事務局 専務理事、中小企業相談所長 以上 2 名
6. 内 容

事務局より、「平成 30 年度 石岡商工会議所経営発達支援事業遂行状況一覧（平成 30 年 9 月 30 日現在）」により、今年度の遂行状況について説明。以上の説明及び各委員に毎月送付している当所会報と折込物も含めて、当所の事業について委員から質問及び評価を受けた。各委員からの質問、評価は次の通り。

#### 【質問事項】

- ・巡回訪問件数に比べて、窓口相談件数が目標に対して少ない。窓口まで来るのが大変なのか。何か原因があるのか？  
(回答) ☞窓口相談はマル経融資の件数減少、税務申告時期の相談者の減少などの要因もあるが、当所は巡回指導に重点を置いているため、事業者が窓口に来る必要が無い事が大きな要因と思われる。
- ・石岡産業観光 NAVI サイトのターゲットは誰なのか？  
(回答) ☞石岡産業観光 NAVI サイトは見学が出来る工場や事業所を紹介するサイト。ひところ「大人の社会科見学」として酒蔵見学等の工場見学が盛り上がった時期があり、石岡も酒蔵が多いことから酒蔵を中心とした事業所を紹介するサイトを同時期に立ち上げた。ターゲットは関東地域の一般の方を想定している。
- ・石岡産業観光 NAVI サイトは今見てみたが、石岡の地図を掲載し工場等の位置を示すと見る方は活用しやすくなると思う。  
(回答) ☞このサイトも開設から年数が経過しておりリニューアルの時期に来ている。その際は今のご意見を反映していければと考える。
- ・自分が経営相談を受ける中で、持続化補助金、ものづくり補助金などの話が出た場合は商工会議所へ行くように勧めているが、職員数に限りがある中で商工会議所では対応できるのか？  
(回答) ☞現状では職員の手が回らないほどの申請は無いので紹介いただいて全く問題ないが、さすがに限度はあり、例えば職員一人に 20 件の案件が来たら間に合わなくなるだろう。
- ・補助金の公募時期の周知はどうしているのか。  
(回答) ☞周知は課題の一つ。当所の広報手段は会報と WEB サイト。タイミングよく会報発行の時期に公募が開始されれば良いが、なかなかそうはいかない。WEB サイトには掲載するがすべての事業者が閲覧できるわけではない。公募の時期が一定の周期であ

れば事前告知も可能だが、不定期で内容も変化するので早めの周知が難しいのが現状。

- ・補助金申請に慣れている事業所は何回も認定を受けているが、そうでない事業所は知らずに機会を逃している。巡回等でニーズを把握することは可能か。

(回答) ☞それは可能である。革新的な取り組みを考えている事業者には事前に案内することはしている。

- ・オリジナルキャラクター「いしおか恋瀬姫」の使用には要件があるのか。

(回答) ☞石岡市へ申請書を提出することが必要。公序良俗に反しない申請であれば無料で利用できる。

## 【評価】

- ・事業の内容で改善が必要なものは無い。ただ巡回指導に重点を置くのであれば、目標も巡回訪問件数を多くし、窓口相談件数を少なくしても良いのではないか。
- ・にぎわい創出事業の評価として経済効果を打ち出せると分かりやすい。
- ・にぎわい度の尺度については何か指標となるものがあるとよい。

## (第2回)

1. 日 時 平成31年2月28日(木) 午後2時～午後3時9分
2. 場 所 石岡商工会議所 3階小会議室
3. 出席委員 外部有識者として委嘱した中小企業診断士3名
4. 欠席委員 なし
5. 事務局 専務理事、中小企業相談所長 以上2名
6. 内 容

事務局より「平成30年度 石岡商工会議所経営発達支援事業遂行状況一覧(平成31年2月28日現在)」について説明。なお、説明は第1回委員会から変わった部分を中心に説明。その中で今年度実施した「本・新聞購読アンケート」の集計結果、また新たな取り組みとして始まった、石岡駅の観光案内所に置いてある土産品チラシ、さらに地酒で乾杯推進事業で作成したお猪口を紹介。

次に「平成30年度 石岡商工会議所が行った伴走型支援の流れ」をもとに、数字で見る今年度の実績について説明。その中で、経営革新計画認定申請は、もう1件申請予定である旨説明。また、ものづくり補助金は現在公募中であることから、今後、支援件数が増える見込みであることを説明。

次に「平成30年度 経営革新計画フォローアップ調査結果概要」をもとに、当所が支援し経営革新計画認定をうけた企業の計画実施状況と効果、及び経常利益の伸び率、付加価値額の伸び率から見た計画の実績について説明。

以上の説明をもとに、委員から質問及び評価を受けた。各委員からの質問、評価は次の通り。

## 【質問事項】

- ・経営革新計画フォローアップ調査について、計画が遅れている場合の理由はヒヤリングしているのか。

(回答) ☞ヒヤリングの中で理由が分かっている企業については内容を確認している。

- ・計画が遅れている企業に対してアドバイスは行っているのか。

(回答) ☞アドバイスは行うが難しい部分である。計画が遅れている、または実行していない企業の多くは、自ら計画づくりをした企業ではなく、当所から勧められて計画づくりを行った企業で、モチベーションの差が結果に出ている。

- ・創業支援者数 21 名は多いと思うが、全てが創業したのか。

(回答) ☞創業塾受講者 9 名はまだ創業していないが、その他は創業者に対する融資や創業間もない事業者への支援である。創業者の多くは飲食店で、個人が勝負できる業態が今や飲食店などに絞られてきており、小売業はネットと大手に対抗するのは難しい時代になっている。

- ・交通量調査の目的は何か。また調査結果をどう活用しているのか。

(回答) 中心市街地活計化計画にフィードバックされている。

- ・事業承継について今後大きなテーマとなってくるのか。

(回答) ☞当所には事業承継税制に対する質問は 1 件あったが、それ以外は相談自体多くは無い。当所の対応としては、相談があった場合、必要に応じた専門家を紹介することになる。

### 【評価】

- ・内容的には実績を上げていると思うが今年は去年と比べてどうだったのかが分かりづらい。また、今年の実績を基に来年はどうするのかといった部分も必要。
- ・巡回指導件数を見ても目標に対して実直に取り組んでいる印象を受けた。このまま続けて行ってほしい。
- ・石岡市の発展のためこのまま実行してほしい。

以上